



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 35-16, DAIKAN-CHO, HIGASHI-KU, NAGOYA, 461-0002 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2012 / 2013)

国際会長 「世を照らす光となるう」
 アジア会長 「歳月はY'sをワイズ(賢者)にする」
 西日本区理事 「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」
 中部部長 「前へ!声を掛けよう」
 名古屋クラブ会長 「共に手をとり広げよう "Y'sの輪・絆"」

2012 ~ 2013 9 月 号 (No787)

9月例会プログラム

と き: 2012年9月11日(火) 6:30p.m. ~ 8:30p.m.
 と ころ: 名古屋 YMCA

司 会 塩田 保君
 開会宣言 会 長 五島 八郎君
 ワイズソング
 聖岩クラブ会長挨拶 白 宇鉉 様
 성암클럽 회장 인사 白 宇鉉 귀하
 ゲスト紹介 趙 鐘徳様・尹 鎬俊様
 게스트 소개 趙 鐘徳귀하・尹 鎬俊귀하
 聖書朗読・祈禱 西村 清君
 食事
 プログラム
 「児童養護施設から見える子どもの貧困問題」 植田 望氏
 諸報告
 ハッピーバースディ
 ドライバースピーチ 寺田 仁計 君
 讃美歌 312
 閉会宣言 会 長 五島八郎君

YMCA の秋

中 野 美 幸

日に日に涼しくなってきました。秋から年末にかけて、YMCA行事はワイズと共に活動する場が多くなります。2012年を良き年としていけますよう、皆さまとともに、もうひと息、駆け巡りたいと思います。

さて、9月の第一例会に合わせて、IBC締結クラブである聖岩クラブ白会長含む3名の方が、名古屋へお越しになります。事前の打ち合わせでは、主な名古屋の観光名所を探り、どちらへお連れしたら喜んでいただけるであろうか我がクラブの先輩方とともに、頭をひねらせました。歴史を振り返ってみましたら、1978年5月5日にIBC締結、今年で34年の歳月が流れ、歴代の諸先輩方を始め、多くの方が国際交流の機会を持ち、継続した交流を持てたこと、素晴らしいなあと思います。クラブの皆さま、きっと素敵な思い出をお持ちなのではと推測し、今回の準備段階から聖岩クラブの皆さまをお送りするまで、名古屋滞在を楽しんでいただけますよう、私も祈らせていただきます。

秋といえば、“収穫・稔り”をイメージしますが、YMCAの秋は高原でのバーベキュー・被災者支援プログラム・ワイズポテト・お楽しみ企画が盛り沢山!! 明るく楽しく元気にワイズライフを過ごしていけますように、協働をどうぞよろしくお願いいたします。

第 2 例 会

と き: 2012年9月18日(火) 7:00p.m. ~ 8:30p.m.
 と ころ: 名古屋 YMCA
 プログラム: 10月例会について

会 長 五島八郎 書 記 千賀 将 深谷 聡
 副 会 長 川口 恵 飯田和也 会 計 川口 恵 塩田 保
 プリテン 久保田 平野 伊左治

8月クラブ出席		B	F	8 月 個 人 出 席				第 一 例 会 (8/7)		
在 籍	27名	切手	400pt	青 木	木 本	○	中 野	◎	メネット 伊左治 尾関 加藤(朱) 五島 西村 長井 中 部 部 会 (8/26) 伊左治 岩田 尾関 小尾 加藤(明) 川口 川本 五島 小谷 塩田 相馬 谷川 中野 成瀬 西村 平野 深谷 渡辺 メネット 伊左治 尾関 加藤(朱) 加藤(邦) 久保田 五島 長井 西村 飯田	
第1例会	15名	8 月	現金 0pt	飯 田	久保田	○	成 瀬	○		
メネット	5名			伊左治	○	五 島	◎	西 村		◎
第2例会	11名			岩 田	○	小 谷	○	平 野		◎
メネット	0名	累 計 (7 ~ 8 月)	小計 400pt	尾 関	○	塩 田	◎	深 谷		
ゲスト・ピシター	0名			小 尾	◎	鈴 木	功	水 谷		
メーキャップ	0名			加藤明	◎	千 賀	渡 辺	◎		
出席率	%	現金	0pt	加藤晃	相 馬	◎				
メネット会	9名	累 計	765pt	川 口	○	谷 川	○			
ゲスト・ピシター	0名			川 本	◎	寺 田				
◎第1 ○第2 ◎第1・第2 Mメーキャップ										

■■■ 第1例会レポート ■■■

と き：2012年8月7日(火) 6:30p.m.～8:30p.m.
と ころ：名古屋YMCA

8月第一例会は、原発事故によって愛知県に避難されて来られた大沼勇治・せれなご夫妻を招いて、「原発事故からのがれて」と題して、震災と福島第一原発事故当時の様子、愛知県に避難されてこられた経緯、そして、今の故郷の状況について話しを聞かせてもらいました。

最初に奥様のせれなさんが、きちんとしたためのメモを読みながら語って下さいました。すごい揺れに襲われ、ご主人とすぐに連絡が取れず不安な夜を過ごしたこと、身重の状態にも係わらず車中で過ごさざるを得なかった震災直後の様子などを目に浮かぶような語り口で語られました。ご主人の勇治さんは、震災後、何度か防護服に身を包んで訪れたふるさと双葉町の写真を映像で写しながら、リアルに語ってくれました。陥没したまま、雑草に覆われた道路、廃墟となった町に野生化した牛、ダチョウ、豚が動きまわっている写真は、これが同じ日本なのか、2011年3月11日から1年と半年近くも経つというのに

復興という言葉が、虚ろな現実でしかないことを思い知らされるものでした。勇治さんが小学生の時に応募、採用された原発推進のスローガン「原子力明るい未来エネルギー」の横断幕の前に立ち、明るい箇所「破滅」と大きく書いた紙を掲げた写真は、勇治さんが東京電力に裏切られたという悔恨の念、原発ノーという今の意志を鮮明に表現され、それを広く訴えたいとの思いがひしひしと伝わってくるものでした。

放射能汚染の除染の目処もたらず、帰るに帰れない故郷、賠償問題もなかなか進んでいない、大沼さんのような避難者が福島だけで6万人いると言われていています。今期、わがクラブメンバーより輩出している成瀬西日本区理事は、東日本大震災の継続的な支援の方針に掲げていますし、3つのテーマのひとつとして「現場」を標榜しています。

私たち名古屋ワイズメンズクラブのメンバーが、東日本大震災の継続的支援の必要性に改めて思いを馳せ、その現場のひとつとして、大沼さんに代表される県外避難者の現状にふれる機会となりました。全員が息をひそめるようにじっと聞き入っていると感じたのは、私だけではなかったでしょう。
(谷川 修)



■■■ 第2例会レポート ■■■

日 時：2012年8月21日(月) 19:00～
場 所：名古屋YMCA
出席者：五島、渡辺、小尾、加藤明、久保田、相馬、塩田、中野、西村、平野

- 1) 9～11月第一例会の件
 - 9月は谷川さんの紹介で植田さんを卓話講師にお迎えする
 - 10月は五島会長の紹介で若松ケイコさんのマジック
 - 11月は深谷さんの紹介でパーカッション演奏者本多正典氏を予定
- 2) クリスマス例会について
 - 中央教会で礼拝後、栄APAホテルで祝会。
 - 会費6～7000円予定
- 3) 部会登録の件
 - 名古屋クラブメンバーに中部部会以外の部会に参加の呼びかけ
- 4) ワイズポテト販売の件
 - 販売価格(1箱) ポテト¥1,600、かぼちゃ¥2,200
 - 9月第一例会で注文を受ける。欠席予定者は予め中野さんに連絡する

- 9月プリテンに掲載
- 5) STEP支援
 - 大西コメット支援金をクラブより支出済
- 6) ユースコンポジション報告会
 - 9月11日に名古屋グランパスクラブ第一例会で報告会開催
- 7) 名古屋グランパス20周年事業
 - 東日本大震災被災地応援ツアー開催
 - 日程は11月3～4日。参加希望者はグランパスクラブ阿部会長に連絡する
- 8) 国際投票の件
 - 五島会長が投票済
- 9) 第19回チャリティーランの件
 - 11月10日(土)開催
 - 名古屋クラブから委員を輩出。小尾君と千賀君に依頼
- 10) 聖岩クラブ白会長公式訪問の件
 - 詳細は別紙参照
 - 交流予算を超える模様。オーバー分は名古屋クラブ会計より支出を役員会で承認
- 6) その他
 - 西日本区大会準備金をファンドよりの支出の承認

第一例会スピーカー紹介

植田 望氏 (故石垣栄三ワイズの娘婿、名古屋桜山教会員)



植田望さんは、伊勢湾台風キリスト教救援本部が行う救援活動に関わり、名古屋キリスト教社会館設立に大きな役割を果たし、その後社会館で主事・館長職を23年間勤められました。社会館退職後、西区でバリアフリーの特養ホーム・保育園合築施設の建設を手掛けられ、そのセンター長も担われました。

現在は、緑区にある児童養護施設「中央有鄰学院」の理事長、施設長です。養護施設から見える、現代社会における子どもたちの貧困問題を語って頂きます。

今月の聖句

「しかし、今は神を知っている、いや、むしろ神から知られているのに、」
ガリラヤの信徒への手紙 4:9

西村 清

信仰はともかく人間の信仰です。人間が神を求め、人間が神を信じ、人間が神を知るのです。人間が主体です。ともかくこのことを素直に認めねばなりません。

人間が主体であると言われるが、この人間ほど不確かなものはないのです。宗教信仰は、この不確かな人間世界から救い出されて、確かさを与えられることを目指すのですが、しかしその信仰の領域でもまた、人間自身が究極の主体であるということになると、もとのもくあみ、ということになります。

聖書はまず、人間が「神を知っている」という側面を素直に認めるのです。しかしただちに語をついで、「いや、むしろ神に知られている」と言いなおすのです。ここでは主体であったはずの人間が、かえって対象に変わり、逆に、対象で

あったはずの神が、かえって主体に変わります。人間が神をとらえているのではなく、神が人間をとらえているのです。信仰の確かさは、「とらえている」ことの確かさではなく、「とらえられている」ことの確かさなのです。

この関係を分かりやすい例として、猿と猫の違いに見ることが出来ます。猿の母子の場合、母猿は四肢を使って木から木へと渡り歩くので、小猿をとらえているわけにはいかないのです。小猿が母猿をとらえていなければなりません。小猿が少しでも油断すると転落してしまいます。

しかし猫の母子は全く異なります。母猫のほうが子猫をくわえて移動するのです。したがって子猫のほうは少しぐらい油断しても決して転落することはないのです。

聖書のいう意味での「信仰」は、猿式ではなく、猫式と言えます。子である人間は父である神によって、知られ、とらえられているところに、確かさを与えられているのです。人間自身の信仰は、この「とらえられている」ことが人間の意識の上に反映していると言えるのです。

『ワイズメンの賢い話』(No195)

『赦しなさい』

「人間は、人を赦すということは難しいね。しかし、イエスは“赦してあげなさい”と言われているよ。「明らかに相手が間違っているなら、赦すことはできないよ。「そうだけど、人間は誰でも間違っていて、罪を犯しているのだよ。完璧な人間は一人もいないよ。自分だって間違っただけで罪を犯しているのだよ。だけど自分では、それが間違っているかどうか分からないときがあるよ。「自分に直接に関係なければ見過ごしてもいいのではないかな」。「ところが、イエスは“もし兄弟が罪を犯したら、戒めなさい”と言われているよ。戒めるとは注意することだよ。他の人が間違っただけで罪を犯しているなら、注意し

なければならないのだよ。「それなら、間違っていて罪を犯している人を罰してやればいいじゃないか」。「ところが、イエスは“悔い改めれば赦してやりなさい”と言われているよ。悔い改めるとは、自分の罪を認めて謝ることだよ。「自分の罪を認めて謝るならば、赦すことができるかも知れないね」。「このような関係は、人間同士だけでなく、神と人間との関係にも当てはまるのだよ。私たち人間は、誰でも、神に対して罪を犯しているのだから、まず、自分の罪を認める悔い改めが必要なのだよ。そうすれば、イエスが十字架によって、私たちの罪を贖って下さったので、神が罪深い私たちを赦して下さるのだよ。それと同じように、人間同士でも、相手が悔い改めれば、必ず赦してあげなければならないのだよ。

(ルカによる福音書 17章3節)

(寺田仁計)



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

メネット 8 月例会報告

と き：2012 年 8 月 26 日 (日)

ところ：名鉄ニューグランドホテル

メネットアワー 11:30 ~ 13:00

部会 13:30 ~ 17:30

中部合同例会、メネットアワーに 9 名のメネットの出席がありました。大変暑い日でしたが皆様お疲れさまでした。

参加者 伊左治、尾関、加藤 (朱)、加藤 (邦)、久保田、五島、長井、西村、飯田

仙台 YMCA 総主事 光永尚生氏によるテーマ「心のケアについて」のお話や、震災復興の DVD の視聴もしました。(飯田純子)

西日本区第 16 回中部メネットアワー

尾関 静枝

今年は名古屋クラブから理事成瀬晃三メン、名古屋東海クラブからメネット事業主任野村靖子メネットを出している等で大変意義ある年になると思っています。名古屋南山クラブから中部メネット主査として荒川まことメネット。野村メネットを助けて事業会計として杉山由香里メネットを助けて事業会計として松本滯子メネットが活躍して頂けることになった、今日の顔合わせでした。皆さんご苦労様。そして有難うございます。

11 時 30 分荒川主査の開会の辞つづき成瀬理事のご挨拶、野村事業主任の報告、アピール。続いて仙台 YMCA 総主事の光永尚生様の「心のケアについて」のお話がありました。遠くから出席頂いてありがとうございました。



ハッピーバースデー

9 月 5 日 岩田 鉦一君
5 日 久保田 啓君
13 日 尾関 明君
27 日 伊左治正文君

Happy Wedding Anniversary

9 月
24 日 西村 清・牧子夫妻
26 日 平野実郎・愛子夫妻

BF

切手 尾関 明君 200pt
木本精之助君 35pt
久保田 啓君 65pt

9 月メネット会ごあんない

9 月メネット会は小旅行を予定していましたが、変更になりました。

9 月 11 日～9 月 14 日まで、聖岩クラブの白会長他 2 名の方が公式訪問されますので、メンと合流で聖岩クラブの方々と交流し親睦を深めたいと思います。尚、日程の詳細はプリンテンに同封の別紙を参照してください。

愛実の会奉仕

と き：2012 年 9 月 8 日 (土)

当 番：伊左治、五島、飯田

と き：2012 年 10 月 13 日 (土)

当 番：加藤 (朱)、長井、西村

食事の間に震災復興のための若い方々のお働きの様子を DVD で見せて頂きました。

いつも思うことは、皆の働きが一つになっていると思う時この貴重な体験をこれからを担う若い人達が十分に生かして頂きたいと願いました。

食後 EDEI-DUO のヴァイオリンの合奏、薄くしいハーモニイに心もほぐされました。

お二人のお嬢様は愛知県立芸術大学在学中とか。この後、フェローシップアワーでも合奏のご奉仕をして下さいました。第二部の講演会で近藤真由氏のお花が音楽がもたらす癒しの効果のお話しでした。

最後に参加者全員の発言で会は終わりました。

様々な企画を立て担って下さった方々にお礼を申し上げます。

ポテト・かぼちゃ申込みのお知らせ

9 月第一例会で受け付けます。
欠席の方は、クラブサービス (小谷寺田) まで、ご連絡下さい。

販売価格

ポテト ￥1,600 / 1 箱
かぼちゃ ￥2,200 / 1 箱